学校番号	３０１８

令和８年度　外国語

教科	外国語	科目	実用英語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Take It Easy! Second Edition　(National Geographic Learning 出版)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「実用英語」の授業は、４技能５領域のうち、特に「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」の力を中心とした統合的な英語力の向上をめざします。ペアワークやグループワークなどの多様なコミュニケーション活動を通じて、間違いを恐れずに積極的に「英語を使う」ことを意識しましょう。
- 自分の意見や考えをまとめ、表現する活動として、プレゼンテーションやインタビューを行います。
- オンライン国際協働学習を行い、海外の生徒たちとコミュニケーションをとることで、異文化コミュニケーション能力の向上をめざします。

2　学習の到達目標

- 英語の音声や言語の働きなどについて理解を深め、特に実際のコミュニケーションにおいても、目的や場面、状況などに応じて適切に理解、活用できる技能を身に付けるようにする。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や考えを持ち、それらを適切に表現したり、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したりする力を養う。
- 実際に他国の生徒とコミュニケーションをとることで、異文化理解を深め、多文化共生社会の一員として必要な資質を身につけ、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や言語の働きなどについて理解を深め、特に実際のコミュニケーションにおいても、目的や場面、状況などに応じて適切に理解、活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や考えを持ち、それらを適切に表現したり、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したりできる。	実際に他国の生徒とコミュニケーションをとることで、異文化理解を深め、多文化共生社会の一員として必要な資質を身につけ、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	Unit 1 You and Me	Unit 1: あなたと私 人々との出会いと挨拶 ためらい 現在形の質問と回答	a: 会話において挨拶と自己紹介を理解し、実践できる。現在形の基本的な質問と回答を行うことができる。 b: ためらいの表現を活用しながら意見を述べることができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、ためらいの表現を活用しながら積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 2 Growing Up	Unit 2: 成長 過去形の質問と回答 興味を示す 過去について話す	a: 過去形の質問と回答を理解し、過去の出来事について話す基本的な表現を身につける。 b: 他者の話に興味を示し、過去の体験についてコミュニケーションをとることができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、他者の話に興味を示し、過去の体験について積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 3 At Home and at School	Unit 3: 家と学校で 頻度を表現する 個人のニュースについて話す 「How～?」の質問を使う	a:「How～?」で始まる質問や、頻度について質問したり説明したりすることができる。 b: 個人的なニュースを話したり、相手のニュースにリアクションを取ったり質問したりすることができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、「How～?」"を使って積極的に質問しようとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 4 Going Out	Unit 4: 外出 将来の計画について話す フォローアップの質問をする 過去の活動について話す	a: 将来の計画や過去の経験について説明することができる。 b: フォローアップの質問を用いて、積極的にコミュニケーションをとることができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、計画や過去の経験について積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察 振り返りシート

2学期	Unit 5 Food and Drink	Unit 5: 食べ物と飲み物 好みを表現する 丁寧な表現を使う レストランで注文する	a: 食べ物や飲み物に関する好みを表現し、レストランでの注文ができる。 b: 丁寧な表現を活用しながら積極的にコミュニケーションをとることができる。 c: ロールプレイを通じて、丁寧な表現を活用しながら積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 6 The Future	Unit 6: 未来 未来形の質問と回答 同意と不同意を表す 確実性と不確実性を表現する	a: 未来形の質問と回答や確実性と不確実性を伝える表現を身につける。 b: これからの予定や将来の計画について他者と議論し、意見の一致点や相違点を理解する。 c: ペアワークやグループワークを通じて、これからの予定や将来の計画について積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 7 Travel	Unit 7: 旅行 場所について話す 比較の質問をする 方向を尋ねたり教えたりする	a: 場所や道案内についての表現を身につけ、方向を尋ねたり示したりすることができる。 b: 比較級の質問を活用し、積極的にコミュニケーションをとることができる。 c: ロールプレイを通じて、道案内の表現を活用しながら積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 8 Entertainment	Unit 8: エンターテインメント 情報を尋ねたり与えたりする 繰り返しを尋ねる エンターテインメントについて話す	a: 娯楽について、情報を尋ねたり提供したりすることができる。 b: 聞き返しの表現を用いながら、情報を交換することができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、娯楽について積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察 振り返りシート

3学期	Unit 9 Staying Healthy	Unit 9: 健康を保つ ルーティンを説明する 数字を使う 指示を与える	a: 日課について説明し、順序立てて指示をすることができる。 b: 数字を使って情報を伝えることができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、日課ついて積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 10 People I Know	Unit 10: 知っている人々 人物の説明 強調 個性の説明	a: 他者の特徴や性格を描写し、紹介することができる。 b: 強調の表現を活用し、積極的にコミュニケーションをとることができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、他者の特徴や性格について積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 11 Storytelling	Unit 11: ストーリーテリング 過去形の質問と回答 物語の出来事に反応する 物語を語る	a: 過去形を用いて、過去の出来事や物語を語ることができる。 b: 過去の出来事についてリアクションを取ったり質問したりすることができる。 c: ペアワークやグループワークを通じて、過去の出来事について積極的にリアクションを取ったり質問したりしようとしている。	確認テスト	発表	観察
	Unit 12 Society	Unit 12: 社会 アドバイスを尋ねたり与えたりする 意見を表現する 問題について話す	a: 社会的な問題を取り上げ、意見や助言を尋ねたり述べたりすることができる。 b: 自分の意見を述べ、他者の意見に同意したり反対したりすることができる。 c: ディスカッションやディベートを通じて、積極的に自分の意見を述べ、他者の意見に同意したり反対したりしようとしている。	確認テスト	発表	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度